

7日と7日とは昔の労働大衆として、その闘争の経験を通じて、最も切實に組織固い。統一戦線、橋立と西米米セリ、かつて統一戦線として、ストライキ委員会、地域協議会、共同闘争委員会等、大衆直接の闘争の組織を生じた。更にこれと交互促進の關係に於て、大阪労働組合会議は、既に七月より同会議に於て、全国労働組合会議提唱と決議して来たが、最近に至つてより即時実現を決意した。

日本労働組合同盟会 今春大会の議決した全国農村組合会議提唱の實現と交々んとし、

手にとり統一戦線は、かく、如く、大衆の闘争の経験と、従つて、共同闘争の進展と、これに伴つての統一戦線のプロパゲンダによつて、取敢て有力に促進され、橋立、北のであらう。

(三) 三 統一戦線

如上、統一戦線は労働組合戦線統一の必要と可能とを従来より一層明白に指示して来たものであつて、昔同盟会後の活動に重要性を増したれば、去らざるであらう。

かくて昔同盟は労働組合統一運動に於て、如き具体策を採ることも必要

としてゐる。

(一) 統一戦線は資本と労働のたれりものであること、従つてこれは資本と労働を通じて達成されねばならぬ。

(二) 統一戦線組織は、政治的組織として、即ち政治的意見、支持する政治の如何に拘らず、資本との闘争の目的の下に結成しおければならぬ。

(三) 資本との闘争のため、左記にして有力なる統一戦線として、全国労働組合会議開催に關する勧誘を、日本労働組合同盟、大阪労働組合会議及其他の全国的組合に於ておすこと。

(四) 共同闘争の展開。凡中、困難を突破して、全国労働組合会議を確保し、統一戦線形成を促進するものは各種の共同闘争の展開である。

特に地域に於ける工場大衆直接の闘争の共同、暴行反対等の闘争を契機として、労働支持、産業的地域的闘争の共同、暴行反対等の闘争を契機として、労働共同委員会、地域協議会等の組織、及び全国的共同闘争が必要である。昔同盟は在来の各種の共同闘争組織を支持し發展せしめ、これ分論、更に一層、共同闘争組織の發展、確立に努力する。

(五) かくて、労働の展開と同時に、より多くの機会を利用して戦線統一の必要を宣伝、煽動する。

以上